

## 【要点】①式の計算

### (1) 単項式と多項式

単項式………数や文字についての乗法だけで作られた式

[例]  $3xy$ 、 $-2x^2$ 、 $a$ 、 $-5$   
( $a$  や  $-5$  など単項式！)

多項式………2つ以上の単項式の和の形で表された式

[例]  $2x+3$ 、 $xy-x+y$  ( $xy+(-x)+y$  と単項式の和の形で表せる)

項 ……多項式中のひとつひとつの単項式を、多項式の項という。

[例]  $5x^2-3xy+2$  の項  
→ 順に、 $5x^2$ 、 $-3xy$ 、 $2$  (文字を含まない項である  $2$  を定数項という)

### (2) 次数

単項式の次数……単項式において、かけ合わされている文字の個数をその式の次数という。

[例]  $2x^2y$  の次数  
 $2x^2y = 2 \times \underbrace{x \times x \times y}$   
文字が3個かけ合わされている。 → 3次となる

多項式の次数……多項式では、各項の次数のうちでもっとも大きいものを、その多項式の次数という。

[例]  $x^2-5xyz+y^2$  の次数  
 $x^2-5xyz+y^2$   
 $= x^2 + (-5xyz) + y^2$   
↓ ↓ ↓  
次数2 次数3 次数2  
 $x^2-5xyz+y^2$  の次数は3次

$n$  次式 ……次数が1の式を1次式、次数が2の式を2次式、  
次数が  $n$  の式を  $n$  次式という。

[例]  $3x^2$  → 次数が2なので、2次式という。